

令和2年1月27日現在

スマホ申告の手引き②

【申告書作成編】

2-1 収入・所得金額の選択

国税庁 確定申告書等作成コーナー

収入・所得金額の入力

会社員の方やパート、アルバイトの方で、「給与所得の源泉徴収票」をお持ちの方

給与所得
収入金額
—

国民年金、厚生年金、企業年金などの所得があり、「公的年金等の源泉徴収票」をお持ちの方

公的年金
収入金額
—

原稿料や講演料、生命保険の個人年金など他の所得に当てはまらない所得がある方

雑（その他）所得
収入金額
—

生命保険の一時金、賞金や懸賞当せん金、競馬や競輪の払戻金などの所得がある方

一時所得
収入金額
—

収入・所得金額を入力します。

画面の説明を確認し、該当の所得をタップします。

複数の所得がある方は、該当する所得をすべて入力してください。

「給与所得」をタップすると2-2の画面へ遷移します。

「公的年金」をタップすると2-6の画面へ遷移します。

「雑（その他）所得」をタップすると2-8の画面へ遷移します。

「一時所得」をタップすると、2-10の画面へ遷移します。

給与所得
収入金額
5,000,000円

国民年金、厚生年金、企業年金などの所得があり、「公的年金等の源泉徴収票」をお持ちの方

公的年金
収入金額
1,200,000円

原稿料や講演料、生命保険の個人年金など他の所得に当てはまらない所得がある方

雑（その他）所得
収入金額
350,000円

生命保険の一時金、賞金や懸賞当せん金、競馬や競輪の払戻金などの所得がある方

一時所得
特別控除後の額
500,000円

所得金額の合計
4,360,000円

次へ

入力した事項が反映された後の画面です。

入力した内容に誤りがある場合は、該当の所得をタップし、訂正してください。

全ての収入・所得の入力の完了後「次へ」をタップすると、3-1の画面へ遷移します。

2-2 給与所得の源泉徴収票の選択

国税庁 確定申告書作成コーナー

給与所得の入力

年末調整済み源泉徴収票

＞ 年末調整済みと年末調整済みでない源泉徴収票の見分け方

源泉徴収票を入力する

年末調整済みでない源泉徴収票

＞ 外貨建てのストックオプションなどの収入の入力例

最大入力数：150件

源泉徴収票を入力する

次へ

戻る

2-1の画面の「給与所得」をタップすると表示される画面です。

ご自身の源泉徴収票が、年末調整済みである場合には、年末調整済み源泉徴収票「+」をタップし、2-3の画面へ遷移します。

※年末調整済みの源泉徴収票の場合、「給与所得控除後の金額」や「所得控除の額の合計額」に数字が記載されています。

ご自身の源泉徴収票が年末調整済みでない場合には、年末調整済みでない源泉徴収票「+」をタップすると、2-4の画面へ遷移します。

2-3 年末調整済みの給与所得の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

メニュー

給与所得の入力

令和1年分の源泉徴収票に記載されているとおり、入力してください。

記載のない控除は、後の控除の入力画面から入力してください。

源泉徴収票の入力

A. 支払金額（円）

B. 源泉徴収税額（円）

※ 2段で記載されている場合、下の段の金額

☐ 源泉徴収税額が2段で記載（内書き・円）

C. 「（源泉）控除対象配偶者の有無等」、「配偶者（特別）控除の額」のいずれかの記載

※ 0の場合は「なし」を選択してください。

あり

なし

D. 控除対象扶養親族の数の記載

※ 0の場合は「なし」を選択してください。

あり

なし

E. 社会保険料等の金額（円）

※ 2段で記載されている場合、下の段の金額

☐ 社会保険料等の金額が2段で記載（内書き・円）

F. 生命保険料の控除額の記載

あり

なし

G. 地震保険料の控除額の記載

あり

なし

H. 住宅借入金等特別控除の額の記載

あり

なし

I. 「本人が障害者」、「寡婦・寡夫」、「勤労学生」のいずれかの記載

2-2の年末調整済み源泉徴収票の「+」をタップすると表示される画面です。

源泉徴収票に基づき、必要事項を入力します。

画面の各項目に表示されているA~Kと、源泉徴収票イメージ図に表示されたA~Kを照らし合わせて入力すると便利です。

令和 元 年 分 給与所得の源泉徴収票

支払者 氏名	住所 〒	支払 金額	源泉 徴収 税額	源泉 徴収 税額 の 合 計	源泉 徴収 税額 の 合 計
		A	B		
（源泉）控除対象配偶者の有無等	配偶者（特別）控除の額	控除対象扶養親族の数	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
C	D	E	F	G	H
Fに関する項目					
Hに関する項目					
Gに関する項目					
I					
J K					

あり

なし

1. 支払者：住所（居所）又は所在地

※ 28文字以内（ビル名等省略可）

〇〇市△△町X-X

K. 支払者：氏名又は名称

※ 28文字以内

〇〇株式会社

入力内容の確認

戻る

全ての事項を入力し、「入力事項の確認」をタップすると、2-5の画面へ遷移します。

国税庁 確定申告書等作成コーナー

メニュー

給与所得の入力

令和1年分の源泉徴収票に記載されているとおり、1件ずつ入力してください。

記載のない控除は、後の控除の入力画面から入力してください。

源泉徴収票の入力

A. 支払金額（円）

B. 源泉徴収税額（円）

※ 2段で記載されている場合、下の段の金額

☐ 源泉徴収税額が2段で記載（内書き・円）

?

C. 社会保険料等の金額（円）

※ 2段で記載されている場合、下の段の金額

☐ 社会保険料等の金額が2段で記載（内書き・円）

?

D. 支払者：住所（居所）又は所在地

※ 28文字以内（ビル名等省略可）

E. 支払者：氏名又は名称

※ 28文字以内

もう1件入力する

入力内容の確認

戻る

源泉徴収票に基づき、必要事項を入力します。

画面の各項目に表示されているA～Eと、源泉徴収票イメージ図に表示されたA～Eを照らし合わせて入力すると便利です。

[illegible]

全ての源泉徴収票の入力し、「入力内容の確認」をタップすると、2-5の下画面へ遷移します。

2-5 入力した給与所得の内容の確認

国税庁 確定申告書等作成コーナー

給与所得の入力

年末調整済み源泉徴収票

＞ 年末調整済みと年末調整済みでない源泉徴収票の見分け方

給与の支払者
〇〇市△△町×-×
〇〇株式会社

支払金額
5,000,000円

源泉徴収税額
159,786円

源泉徴収税額の内書き
—

編集

年末調整済みでない源泉徴収票

＞ 外国建でのストックオプションなどの収入の入力例

最大入力数：150件

給与の支払者
〇〇市△△町×-×
〇〇株式会社

支払金額
5,000,000円

源泉徴収税額
159,786円

源泉徴収税額の内書き
—

編集

源泉徴収票を入力する

次へ

戻る

2-3または2-4の「入力内容の確認」をタップすると表示される画面です。

源泉徴収票の内容と照合し、入力内容に誤りがあれば、「編集」をタップして訂正を行います。

「次へ」をタップすると、2-1の画面へ遷移します。

「+」をタップします。

国税庁 確定申告書等作成コーナー

メニュー

公的年金等の入力

令和1年分の源泉徴収票に記載されているとおり、1件ずつ入力してください。


記載のない社会保険料は、後の控除の入力画面から入力してください。

源泉徴収票の入力

支払者は厚生労働省ですか？

はい

いいえ

支払金額の記載がある「区分」を選択して入力してください。 

☐ A. 法203条の3第1号適用分の入力

☐ B. 法203条の3第2号適用分の入力

☐ C. 法203条の3第3号適用分の入力

☐ D. 法203条の3第4号適用分の入力

E. 社会保険料の金額（円）

F. 支払者の所在地

※ 28文字以内（ビル名等省略可）

千代田区霞が関 1 - 2 - 2

G. 支払者の名称

※ 28文字以内

厚生労働省

もう1件入力する

入力内容の確認

令和 元年 分 公約年金等の源泉徴収票														
支払を受ける者		住所又は 居所												
(フリガナ)														
氏名														
区分		支払金額					源泉徴収税額							
A	所得税法第203条の3第1号適用分	円					円							
B	所得税法第203条の3第2号適用分	円					円							
C	所得税法第203条の3第3号適用分	円					円							
D	所得税法第203条の3第4号適用分	円					円							
本人		国民年金保険料徴収 の権利者		控除対象扶養親縁者の数			16歳未満の 扶養親縁者の数		障害者の数		非障害者 である 親縁者の数		社会保険料の額	
特別 障害者	その他の 障害者	特別 障害者	障害 認定	一般	老人	特定	老人	その他	特別	その他				
						人	人	人	人	人	人	人	E	
源泉徴除対象 配偶者		(フリガナ)		氏名		区分	(備考)							
控除対象 扶養親縁		(フリガナ)		氏名		区分								
		(フリガナ)		氏名		区分								
16歳未満の 扶養親縁		(フリガナ)		氏名		区分								
		(フリガナ)		氏名		区分								
		(フリガナ)		氏名		区分								
支払者 法人番号 60000012070001														
F	東京都千代田区霞が関1丁目2番2号													
G	官費支出官 厚生労働年金局 事業企画課													

全ての源泉徴収票を入力し、「入力内容の確認」をタップすると、2-7の画面へ遷移します。

2-7 入力した公的年金等の確認



国税庁 確定申告書等作成コーナー

公的年金等の入力

公的年金等の入力

＞ 海外からの年金収入の入力例

最大入力数：10件

1

公的年金の支払者
千代田区歳が健1-2-2
厚生労働省

支払金額
1,200,000円

源泉徴収税額
0円

社会保険料の金額
—

編集

2

公的年金の支払者
〇〇市△△町×-×
〇〇年金〇〇組合

支払金額
1,200,000円

源泉徴収税額
0円

社会保険料の金額
—

編集

公的年金等を入力する

支払金額の合計
2,400,000円

次へ

戻る

2-6の画面で「入力内容の確認」をタップすると表示される画面です。

源泉徴収票の内容と照合し、入力内容に誤りがあれば、「編集」をタップして訂正を行います。

「次へ」をタップすると、2-1の画面へ遷移します。

2-8 雑（その他）所得の入力

2-1の画面で、「雑（その他）所得」をタップすると表示される画面です。

「+」をタップします。

「種目」を選択します。

「収入金額」には、「個人年金の額」や「原稿料の額」などを支払者ごとに入力します。

「必要経費」には「個人年金の保険料」や、「原稿料を得るために支出した金額」などを入力します。

「源泉徴収税額」には、支払調書や支払通知書に記載された源泉徴収税額を入力します。

※「収入金額」、「必要経費」および「源泉徴収税額」については、種目ごとに一括で入力することもできます。

「所得の生ずる場所」や「報酬などの支払者の氏名・名称」には、個人年金や原稿料などの支払者の住所や名称を入力します。

※種目ごとに一括で入力する場合には、「●●ほか」と入力します。

入力する所得が複数ある場合には、「もう1件入力する」をタップし、全ての所得を入力します。

全てを入力し、「入力内容の確認」をタップすると、2-9の画面へ遷移します。

2-9 入力した雑（その他）所得の確認

国税庁 確定申告書等作成コーナー

メニュー

雑所得の入力

雑（その他）所得の入力

最大入力数：200件

個人年金

〇〇市〇〇x-x

〇〇会社

収入金額

150,000円

1必要経費

100,000円

源泉徴収税額

5,105円

未納付の源泉徴収税額

—

編集

原稿料

△△市△△x-x

△△会社

収入金額

200,000円

2必要経費

100,000円

源泉徴収税額

10,210円

未納付の源泉徴収税額

—

編集

雑（その他）所得を入力する

+

収入金額の合計

350,000円

必要経費の合計

200,000円

次へ

戻る

2-8の画面で「入力内容の確認」をタップすると表示される画面です。

入力内容に誤りがあれば、「編集」をタップして訂正を行います。

「次へ」をタップすると、2-1の画面へ遷移します。

2-10 一時所得の入力



2-1の画面で、「一時所得」をタップすると表示される画面です。

「+」をタップします。



「種目」を選択します。

「収入金額」には、その年中に受け取った「生命保険金の額」などを支払者ごとに入力します。

「必要経費」には、「その年中に受け取った生命保険金に係る保険料」などを入力します。

「源泉徴収税額」には、支払調書や支払通知書に記載された源泉徴収税額を入力します。

※「収入金額」、「必要経費」および「源泉徴収税額」については、種目ごとに一括で入力することもできます。

「所得の生ずる場所」や「支払者の氏名・名称」には、生命保険金の支払者の住所や名称を入力します。

※種目ごとに一括で入力する場合には、「●●ほか」と入力します。

入力する所得が複数ある場合には、「もう1件入力する」をタップし、全ての所得を入力します。
全ての一時所得を入力し、「入力内容の確認」をタップすると、2-11の画面へ遷移します。

2-11 入力した一時所得の確認

国税庁 確定申告書等作成コーナー

メニュー

一時所得の入力

一時所得の入力

最大入力数：100件

種目・支払者

生命保険金

〇〇市〇〇×-×

〇〇保険

収入金額

1,500,000円

1 必要経費

1,000,000円

源泉徴収税額

0円

未納付の源泉徴収税額

—

編集

種目・支払者

満期返戻金

△△市△△×-×

△△保険

収入金額

1,500,000円

2 必要経費

1,000,000円

源泉徴収税額

0円

未納付の源泉徴収税額

—

編集

一時所得を入力する

収入金額の合計

3,000,000円

必要経費の合計

2,000,000円

次へ

戻る

2-10の画面で「入力内容の確認」をタップすると表示される画面です。

入力内容に誤りがあれば、「編集」をタップして訂正を行います。

「次へ」をタップすると、2-1の画面へ遷移します。

3-1 支出に関する控除の入力

国税庁 確定申告書作成コーナー

控除の入力 (1 / 2)

支出に関する控除

災害や盗難、横領により住宅や家財などに損害を受けた方

雑損控除
— 災害減免額 —

一定額以上の医療費の支払いやセルフメディケーションの対象となる医薬品の領収書がある方

医療費控除
—

源泉徴収票に記載のない、国民健康保険料、介護保険料、国民年金保険料などの支払いがある方

社会保険料控除
—

源泉徴収票に記載のない、iDeCo（イデコ）などの支払いがある方

小規模企業共済等掛金控除
—

源泉徴収票に記載のない、生命保険料や介護医療保険料、個人年金保険料の支払いがある方

生命保険料控除
—

源泉徴収票に記載のない、地震保険料や旧長期損害保険料の支払いがある方

地震保険料控除
—

ふるさと納税や特定の政治献金、認定NPO法人や公益社団法人などに寄附をした方

寄附金控除
— 政党等寄附金等特別控除 —

次へ

戻る

2-1の画面の「次へ」をタップすると表示される画面です。画面の説明を確認し、該当する控除をタップします。

雑損控除をタップすると、3-2の画面へ遷移します。

※「雑損控除」とは、災害、盗難または横領によって資産に損害を受けた場合やこれに関連してやむを得ない支出をした場合の控除です。

医療費控除をタップすると、3-5の画面へ遷移します。

※「医療費控除」とは、あなたが、あなたや、あなたと生計を一にする親族のために医療費を支払った場合の控除です。

社会保険料控除をタップすると、3-9の画面へ遷移します。

※「社会保険料控除」とは、あなたが、あなたや、あなたと生計を一にする親族のために社会保険料を支払った場合の控除です。

小規模企業共済等掛金控除をタップすると、3-10の画面へ遷移します。

※「小規模企業共済等掛金控除」とは、あなたが、iDeCoなどの掛金を支払った場合の控除です。

生命保険料控除をタップすると3-11の画面へ遷移します。

※「生命保険料控除」とは、あなたが、生命保険や個人年金の保険料を支払った場合の控除です。

地震保険料控除をタップすると、3-12の画面へ遷移します。

※「地震保険料控除」とは、あなたが、地震保険の保険料を支払った場合の控除です。

寄附金控除をタップすると、3-13の画面へ遷移します。

※「寄附金控除」とは、2千円を超えるふるさと納税や2千円を超える私立学校への寄附などをした場合の控除です。

全ての支出に関する控除の入力の完了後「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

3-2 雑損控除の入力

3-1の画面で雑損控除をタップすると表示される画面です。

「災害」、「盗難」、「横領」のいずれかを選択します。

「損害の生じた年月日」を入力します。

「損害を受けた資産の種類」には、「住宅」、「車両」、「家財」のように入力します。

「損害金額」を入力します。

※「損害金額」とは、損失を受けた資産の損失直前の時価から損失直後の時価を差し引いた金額となります（損害を受けた資産が減価償却資産である場合には、いわゆる簿価ベースで計算することもできます。）。損害金額は、いわゆる簡便法で計算することもできます。

「保険金などで補填される金額」には、資産に損害が生じたことにより受領した、「火災保険」や「地震保険」の保険金の額を入力します。

災害を選択した方のうち「災害関連支出」のある方は、「災害関連支出」をタップすると、3-3の画面へ遷移します。

※災害関連支出

- ・住宅などの取壊し費用、除去費用、原状回復費用
- ・災害の拡大、発生の防止のための費用

全ての事項を入力した後、「次へ」をタップします。

- ・e-Taxの方は、3-4の画面へ遷移します。
- ・書面提出の方は、3-1の画面へ遷移します。

（参考）簡便法

【住宅に対する損失額の計算】

- ・損失額 ＝ （住宅の取得価額 － 減価償却費※）× 被害割合※

※住宅の取得価額が明らかでない場合は、「1㎡当たりの工事費用※×総床面積」で計算します。

【家財に対する損失額の計算】

- ・損失額 ＝ （家財の取得価額 － 減価償却費）× 被害割合※

※家財の取得価額が明らかでない場合は、「家族構成別家庭用財産評価額※」を使用します。

【車両に対する損失額の計算】

- ・損失額 ＝ （車両の取得価額 － 減価償却費）× 被害割合※

※被害割合等については、国税庁ホームページの「災害により被害を受けられた方へ（所得税及び復興特別所得税関係）」をご参照ください。

3-3 災害関連支出の入力



3-2で、災害関連支出がある場合には、災害関連支出に関する事項を入力します。

「+」をタップします。



災害関連支出の領収証などを基に、必要事項を入力します。

入力が完了すれば、「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の次へをタップすると、3-2の画面へ遷移します。

3-4 り災証明書等の入力

The screenshot shows the 'e-Tax' interface for disaster damage certificate input. At the top, there's a header with '国税庁 確定申告書等作成コーナー' and a menu icon. Below it, a progress bar indicates the current step. The main title is 'り災証明書や被害届受理証明書の入力'. A note says '最大入力数：30件'. There's a section '証明書をを入力する' with a '+' button. Below it, a list shows '雑損控除、災害減免額証明書' with a minus sign. At the bottom, there are two buttons: '次へ' (Next) and '戻る' (Back).

e-Taxの方が、3-2の画面で、次へをタップすると表示される画面です。

「+」ボタンをタップします。

The screenshot shows the input form for disaster damage certificates. It includes fields for '証明年月日' (Date of certificate) with dropdowns for year, month, and day. Below that is '証明書の名称' (Name of certificate) with a note '※ 28文字以内' and a text input field containing '〇〇証明書'. Then, '証明者の名称（発行機関名等）' (Name of issuer) with a note '※ 28文字以内' and a text input field containing '〇〇市'. At the bottom, there are three buttons: 'もう1件入力する' (Input another item), '入力内容の確認' (Confirm input), and '戻る' (Back).

り災証明書等に基づき、必要事項を入力します。

入力内容の確認をタップします。
上段の画面に遷移しますので、「次へ」をタップします。

3-5 医療費控除等の選択

国税庁 確定申告書等作成コーナー

医療費控除の入力

適用する医療費控除の選択

両方の控除を重複して適用することはできません。

＞ それぞれの制度の違いについて

☐ 医療費控除を適用する

☐ セルフメディケーション税制を適用する

どちらを選択していいかわからない方は、「控除額を試算する」ボタンから確認できます。

控除額を試算する

次へ

戻る

3-1で医療費控除をタップすると表示される画面です。

「医療費控除」か「セルフメディケーション税制」のいずれかを選択します。

※どちらを選択していいかわからない場合は、「控除額を試算する」をタップし、控除額を試算します（下段の控除額の試算をご参照ください。）。

選択が完了した後、「次へ」をタップします。

- ・医療費控除を選択された方は、3-6の画面へ遷移します。
- ・セルフメディケーションを選択された方は、3-8の画面へ遷移します。

控除額の試算

どちらの適用を受けた方が所得税額（国税）について有利となるか判定します。

支払った医療費に関する入力

A. 支払った医療費の総額（円）

※ 通院費やセルフメディケーション税制の対象となる金額を含みます。

B. Aのうち、生命保険や社会保険などで補てんされる金額（円）

セルフメディケーション税制に関する入力

C. 特定一般用医薬品等購入費の合計額（円）

D. Cのうち、生命保険や社会保険などで補てんされる金額（円）

入力した内容で判定する

判定結果

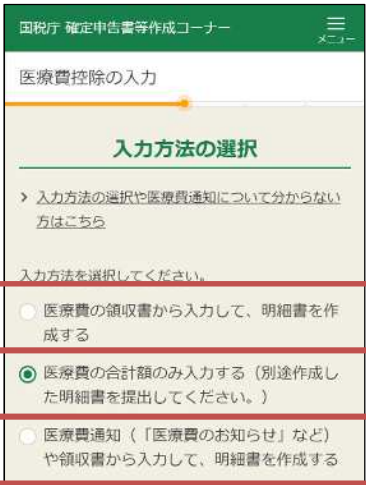
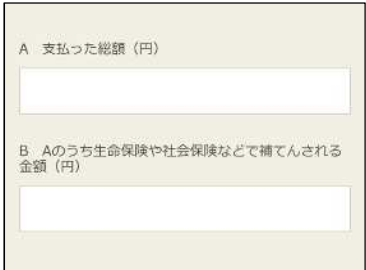
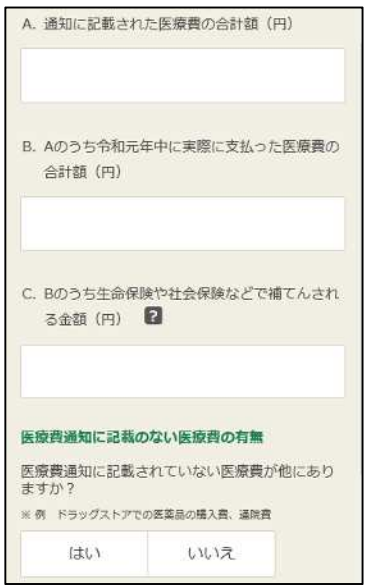

医療費控除
100,000円

セルフメディケーション税制
88,000円

3-5で控除額の試算をタップすると表示される画面です。

「支払った医療費の総額」と「特定一般用医薬品等購入費の合計額」を入力すると、判定結果が表示されますので、控除額の有利な方を選択してください。

3-6 医療費控除の入力方法の選択

 <p>国税庁 確定申告書等作成コーナー</p> <p>医療費控除の入力</p> <p>入力方法の選択</p> <p>＞ 入力方法の選択や医療費通知について分からない方はこちら</p> <p>入力方法を選択してください。</p> <p><input type="radio"/> 医療費の領収書から入力して、明細書を作成する ①</p> <p><input checked="" type="radio"/> 医療費の合計額のみ入力する（別途作成した明細書を提出してください。） ②</p> <p><input type="radio"/> 医療費通知（「医療費のお知らせ」など）や領収書から入力して、明細書を作成する ③</p>	<p>3-5で医療費控除を選択した場合に表示される画面です。</p> <p>① スマホ専用画面で医療費控除の明細書を作成する方（②と③に該当しない方）は、「①」を選択します。</p> <p>② 既に医療費控除の明細書を作成している方は、「②」を選択します</p> <p>③ 医療費通知を活用して、明細書を作成する方は、「③」を選択します（医療費通知に記載のない医療費がある方も③を選択します。）。</p>
 <p>A 支払った総額（¥）</p> <p>B Aのうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額（¥）</p>	<p>②を選択した方は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「支払った医療費の総額」 ・「生命保険等で補てんされる金額」 <p>を入力します。</p> <p>※医療費控除の明細書は郵送等で提出する必要がありますのでご注意ください。</p>
 <p>A. 通知に記載された医療費の合計額（¥）</p> <p>B. Aのうち令和元年中に実際に支払った医療費の合計額（¥）</p> <p>C. Bのうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額（¥）</p> <p>医療費通知に記載のない医療費の有無</p> <p>医療費通知に記載されていない医療費が他にありますか？</p> <p>※ 例 ドラッグストアでの医薬品の購入費、通院費</p> <p><input type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ</p>	<p>③を選択した方は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療費通知に記載された医療費の合計額」 ・「令和元年中に実際に支払った医療費の合計額」 ・「生命保険等で補てんされる金額」 <p>を入力します。</p> <p>「医療費通知に記載のない医療費の有無」を選択します。</p> <p>※医療費控除の明細書は郵送等で提出する必要がありますのでご注意ください。</p>
 <p>次へ</p> <p>戻る</p>	<p>「次へ」をタップします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・①を選択した方、または③を選択した方で「医療費通知に記載のない医療費の有無」で「はい」を選択した方は、3-7の画面へ遷移します。 ・②を選択した方、または③を選択した方で「医療費通知に記載のない医療費の有無」で「いいえ」を選択した方は、3-1の画面へ遷移します。

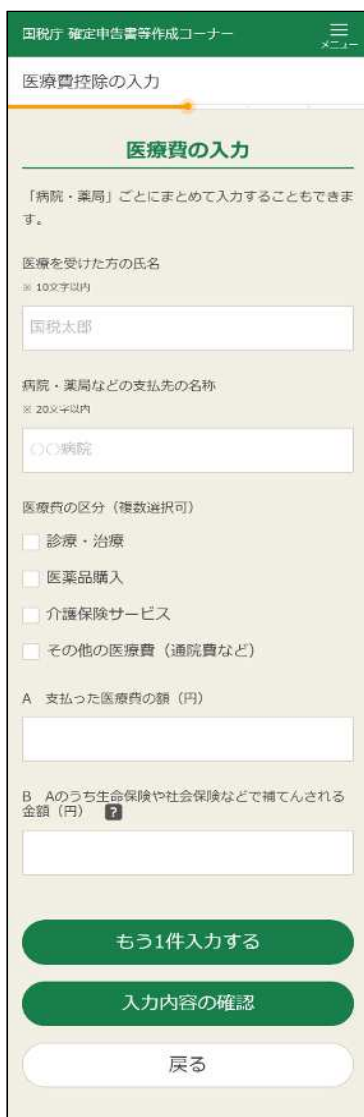
3-7 医療費の入力



3-6で、

- ・①を選択した方
 - ・③を選択した方で「医療費通知に記載のない医療費の有無」で「はい」を選択した方
- に表示される画面です。

「+」をタップします。



医療費の領収証に基づき、

- ・「医療を受けた方の氏名」
- ・「医療費の支払先の名称」

を入力し、「診療等」の区分を選択します。

※医療費は「病院・薬局」ごとにまとめて入力することもできます。

全ての医療費の入力の完了後、「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の「次へ」をタップすると、3-1の画面へ遷移します。

3-8 セルフメディケーション税制の入力

医療費控除の入力

取組内容の入力

セルフメディケーション税制の適用を受ける場合、令和元年中に健康の保持増進及び疾病の予防に関する取組を行ったことを明らかにする書類が必要です。

書類についてはこちら

取組内容の選択 **必須**

選択してください

証明書発行者 **必須**

※ 30文字以内

〇〇病院

入力方法の選択

☐ 医薬品の領収書から入力して、明細書を作成する

☐ 医薬品の購入合計額のみ入力する（別途作成した明細書を提出してください。）

次へ

3-5で、セルフメディケーション税制を選択すると表示される画面です。

取組内容の証明書から、

- ・「取組内容」
- ・「証明書発行者」

を入力します。

次に、

- ① 医薬品の領収書から入力して、明細書を作成する
- ② 医薬品の購入合計額のみを入力する

のいずれかを選択します。

②の方は、「医薬品の購入合計額」等を入力する画面が表示されますので、「医薬品の購入合計額」等を入力します。

①の方が、「次へ」をタップすると、下の画面へ遷移します。
②の方が、「次へ」をタップすると、3-1の画面へ遷移します。

特定一般用医薬品等購入費の入力

予防接種費用など取組に要した費用は、控除の対象となりませんので、ご注意ください。

薬局などの支払先の名称

※ 20文字以内

〇〇薬品

医薬品の名称

※ 30文字以内

別の医薬品を追加入力する

A 支払った医薬品の購入金額（円）

B Aのうち生命保険や社会保険などで補てんされる金額（円） ?

もう1件入力する

入力内容の確認

上段の画面で①を選択した方に表示される画面です。

医薬品の領収書から、

- ・「薬局などの名称」
- ・「医薬品の名称」
- ・「医薬品の購入金額」
- ・「生命保険などで補てんされる金額」

を入力します。

全ての入力の完了後「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の「次へ」をタップすると、3-1の画面へ遷移します。

3-9 社会保険料控除の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

社会保険料控除の入力

給与所得の源泉徴収票に記載されている金額
300,000円

公的年金等の源泉徴収票に記載されている金額
20,000円

最大入力数：4件

1件目

社会保険料の種類

選択してください

支払保険料（円）

もう1件追加入力する

次へ

戻る

3-1 で、社会保険料控除をタップすると表示される画面です。

「給与所得の源泉徴収票」や「公的年金等の源泉徴収票」で入力した「社会保険料」は、左記のとおり、自動反映されますので、入力する必要はありません。

給与や公的年金から天引きされていない社会保険料について、種類を選択して支払保険料の金額を入力します。

「次へ」をタップすると、3-1 の画面へ遷移します。

3-10 小規模企業共済等掛金控除の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

小規模企業共済等掛金控除の入力

給与所得の源泉徴収票に記載されている金額
200,000円

独立行政法人中小企業基盤整備機構の共済契約の掛金（円）

確定拠出年金法の企業型年金・個人型年金加入者掛金（iDeCo（イデコ））（円）

心身障害者扶養共済制度に関する掛金（円）

次へ

戻る

3-1 で、小規模企業共済等掛金控除をタップすると表示される画面です。

「給与所得の源泉徴収票」で入力した「iDeCoなどの掛金」（源泉徴収票の「社会保険料等の金額」に内書きされた金額）は、左記のとおり、自動反映されますので、入力する必要はありません。

小規模企業共済等掛金控除証明書ごとに記載された金額を入力します。

「次へ」をタップすると、3-1 の画面へ遷移します。

3-11 生命保険料控除の入力

3-1 の画面で、生命保険料控除をタップすると表示される画面です。

「給与所得の源泉徴収票」で入力した「生命保険料控除」は、入力する必要はありません。

「+」をタップします

生命保険料控除証明書に記載された内容に基づき、必要事項を入力します。

生命保険料控除証明書が複数枚ある場合には、「もう1件入力する」をタップし、全て入力します。

「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の「次へ」をタップすると、3-1 の画面へ遷移します。

3-12 地震保険料控除の入力



3-1 で地震保険料控除タップすると表示される画面です。

「給与所得の源泉徴収票」で入力した「地震保険料控除」は、入力する必要はありません。

「+」をタップします。



地震保険料控除証明書に記載された内容に基づき、

- ・「保険の種類」
- ・「支払った地震保険料の額」
- ・「支払った旧長期損害保険料の額」

を入力します。

※「旧長期損害保険料」とは、平成18年12月31日までに締結した一定の長期損害保険契約等に係る損害保険料です。

地震保険料控除証明書が複数枚ある場合には、「もう1件入力する」をタップし、全て入力します。

入力が完了したら、「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の「次へ」をタップすると、3-1 の画面へ遷移します。

3-14 寄附金控除の入力

3-1 の画面で、寄附金控除をタップすると表示される画面です。

「+」をタップします。

寄附金の受領証に基づき、

- ・「寄附年月日」
- ・「寄附金の種類」
- ・「支出した寄附金の金額」
- ・「寄附先の所在地」
- ・「寄附先の名称」

などの入力等を行います。

寄附金の受領証が複数枚ある場合には、「もう1件入力する」をタップし、全て入力します。

全ての寄附金の入力が完了したら、「入力内容の確認」をタップし、上段の画面の「次へ」をタップすると、3-1 の画面へ遷移します。

4-1 本人に関する控除等の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

控除の入力 (2/2)

本人に関する控除

寡婦又は寡夫である方 ?

寡婦、寡夫控除

勤労学生である方 ?

勤労学生控除

障害者である方

※ 配偶者や扶養親族が障害者の場合、配偶者（特別）控除又は扶養控除から入力してください。

障害者控除

親族に関する控除

配偶者がいる方

配偶者（特別）控除

扶養親族がいる方

扶養控除

その他

税務署から予定納税額の通知を受けている方

予定納税額

前年分に損失申告用の申告書等を提出した方

本年分で差し引く繰越損失額

次へ

戻る

データを保存して中断

次に本人に関する控除等の入力を行います。

画面にある控除の説明を確認し、該当する控除をタップしてください。

寡婦、寡夫控除をタップすると、4-2の画面へ遷移します。
※「寡婦・寡夫控除」とは、離婚や死別により、寡婦または寡夫となった方の控除です。

勤労学生控除をタップすると、4-3の画面へ遷移します。
※「勤労学生控除」とは、一定の学校の学生で、一定額以下の勤労による所得がある方の控除です。

障害者控除をタップすると、4-4の画面へ遷移します。
※「障害者控除」とは、あなたや生計を一にする親族のうちに障害者の方がいる場合の控除です。

配偶者（特別）控除をタップすると、4-5の画面へ遷移します。

※「配偶者（特別）控除」とは、あなたの合計所得金額が1,000万円以下で、あなたと生計を一にする配偶者で所得金額が123万円（給与収入ベースで約201万円）以下の者がいる場合の控除です。

扶養控除をタップすると、4-6の画面へ遷移します。
※「扶養控除」とは、あなたを生計を一にする16歳以上の扶養親族がいる場合の控除です。

予定納税額をタップすると、4-7の画面へ遷移します。
※「予定納税」とは、前年分の納税額が15万円以上の方が、本年分の所得税等の一部を予め納めるものです。

本年分で差し引く繰越損失額をタップすると4-8へ遷移します。

※「繰越損失額」とは、純損失や雑損失の額で、前年分の申告で控除しきれなかったものをいいます。

全ての控除の入力が完了し、「次へ」をタップすると、5-1の画面へ遷移します。

4-2 寡婦、寡夫控除の入力



4-1で「寡婦、寡夫控除」をタップすると表示される画面です。

「性別」や「寡婦・寡夫」となった理由を選択します。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-3 勤労学生控除の入力

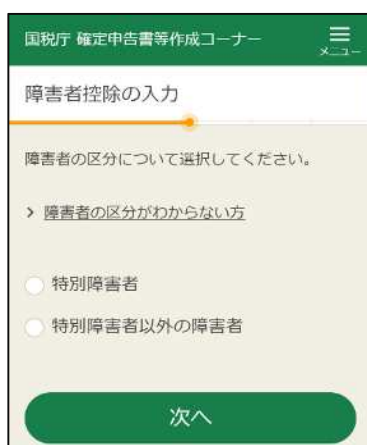


4-1で「勤労学生控除」をタップすると表示される画面です。

通学している「学校名等」を入力します。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-4 障害者控除の入力



4-1で「障害者控除」をタップするとが表示される画面です。

障害者の区分を選択します。

※区分が分からない方は、「障害者の区分が分からない方」をタップして、区分を確認してください。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-5 配偶者（特別）控除の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

配偶者（特別）控除の入力

配偶者の氏名
※ 10文字以内
国税花子

配偶者の生年月日
年 月 日

配偶者の障害者の該当 ?
障害者の場合は選択してください

国外居住親族 ?
☐ 配偶者の方が非居住者である。
▶ 必要書類のご案内

配偶者の所得金額等

▶ 入力方法はこちら

配偶者の給与の **収入** 金額（円）
※ 給与所得の源泉徴収票の支払金額の合計

配偶者の公的年金等の雑所得の **収入** 金額（円）
※ 公的年金等の源泉徴収票の支払金額の合計

配偶者の上記以外の **所得** 金額（円）
※ 収入金額から必要経費等を差し引いた後の金額

次へ

戻る

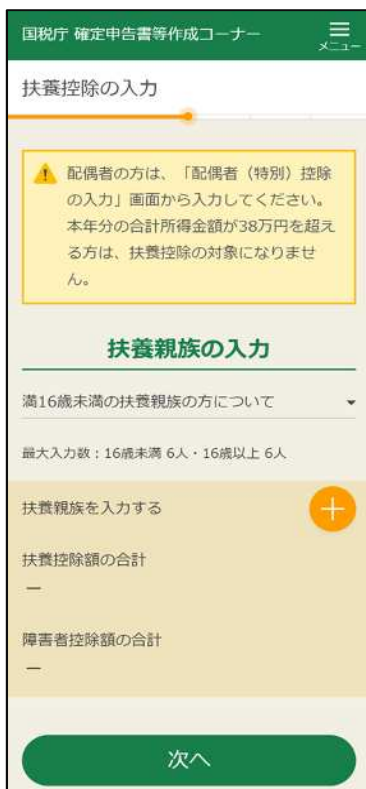
4-1で「配偶者（特別）控除」をタップすると表示される画面です。

- 「配偶者の氏名」
 - 「配偶者の生年月日」
 - 「配偶者の障害者の該当」
 - 「配偶者の非居住者の該当（国外居住かどうか）」
- を入力します。

配偶者に所得がある場合には、配偶者の所得金額等に必要事項を入力します。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-6 扶養控除の入力



4-1で「扶養控除」をタップすると表示される画面です。

「+」をタップします。



- ・「扶養親族の氏名」
 - ・「続柄」
 - ・「扶養親族の生年月日」
 - ・「扶養親族の障害者の該当」
 - ・「扶養親族の非居住者の該当（国外居住かどうか）」
- を入力します。

全ての扶養親族に関する事項を入力した後、「入力内容の確認」をタップします。

上段の画面に遷移しますので、「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-7 予定納税額の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

予定納税額の入力

実際に納付したかどうかにかかわらず、税務署から通知を受けた第1期分と第2期分の合計金額を入力してください。（予定納税額の合計額に入力する金額は、予定納税基準額ではありません。）

ただし、予定納税額の減額申請書を提出して承認を受けた方は、その減額後の予定納税額の合計金額を入力してください。

＞ [入力例はこちら](#)

予定納税額の合計金額（円）

次へ

4-1で予定納税額をタップすると表示される画面です。

画面に表示される内容を確認し、
予定納税額の通知書の
「第1期分」と「第2期分」の「合計額」を入力します。

※予定納税額については、『確定申告のお知らせ』又はあなたの氏名や納税地の所在地が印字されている申告書用紙が送付されている方は、そちらにも表示されています。
また、e-Taxをご利用の方は、メッセージボックスに格納される申告に関するお知らせから確認することもできます。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

4-8 本年分で差し引く繰越損失額の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

本年分で差し引く繰越損失額の入力

平成30年分に生じた居住用財産に係る通算後譲渡損失のみを本年分に繰り越す申告をされる方は、「申告書（損失申告用）第四表」を選択してください。

☐ 申告書（損失申告用）第四表

☒ 申告書（損失申告用）第四表及び第四表付表

前年分から繰り越された損失額

前年の申告書（損失申告用）第四表及び第四表付表を基に入力してください。

＞ [入力例はこちら](#)

☐ 平成26年分（5年前）を入力

☐ 平成27年分（4年前）を入力

☐ 平成28年分（3年前）を入力

☐ 平成29年分（2年前）を入力

☒ 平成30年分（1年前）を入力

次へ

4-1で「本年分で差し引く繰越損失額」をタップすると表示される画面です。

平成30年分の確定申告書の第四表の区分を選択します。
※東日本大震災に係る被災損失額を有している方以外の方は、「申告書（損失申告用）第四表」（上段）を選択してください。

前年の申告書（損失申告用）に基づき、各年分の繰越損失額を入力します。

「次へ」をタップすると、4-1の画面へ遷移します。

5-1 住民税等に関する事項の入力

4-1の画面で「次へ」をタップすると表示される画面です。

給与・公的年金等以外の所得の納税方法について、「給与天引き」か「自主納付」か選択します。

質問に「はい」「いいえ」で回答し、「はい」を選択した項目について必要事項を入力します。

「次へ」をタップすると、5-2の画面へ遷移します。

5-2 計算結果の確認

申告書の入力の結果、「還付」となる場合に表示される画面です。

「還付金の受取方法」を選択し、金融機関名等や口座番号などの必要事項を入力します。

申告書の入力の結果、「納付」となる場合に表示される画面です。

「税金の延納」の有無、「納付方法」を選択します。

5-3 本人情報の入力

国税庁 確定申告書等作成コーナー

基本情報の入力

本人情報の入力

氏名（漢字）必須

※ 各10文字以内

国税

太郎

氏名（カナ）

※ 各11文字以内

コクセイ

タロウ

性別

男

女

生年月日

昭和

41

2

3

電話番号

03

1234

5678

世帯主の氏名（漢字）

ご自身が世帯主

※ 10文字以内

国税

太郎

世帯主からみた続柄

※ 5文字以内

本人、妻、子等

整理番号 ?

※ 税務署から送付された申告書等により整理番号がお分かりになる場合は入力してください。

※ 数字8桁

01234567

現在の住所の入力

納税地 必須

※ 居所を納税地とする場合には、提出が必要です。

住所

居所

郵便番号

1234567

都道府県市区町村 必須

都道府県を選択してください

市区町村を選択してください

丁目番地等 必須

※ 都道府県市区町村と合計で28文字以内

〇〇町1-1-1

アパート名、号室

※ 28文字以内

〇〇アパート101号室

提出先税務署 必須

都道府県を選択してください

税務署を選択してください

提出年月日

令和

令和2年1月1日の住所

☐ 上記の住所と同じ

令和2年1月1日の住所

郵便番号

1234567

都道府県市区町村

都道府県を選択してください

市区町村を選択してください

丁目番地等 必須

※ 都道府県市区町村と合計で28文字以内

〇〇町1-1-1

アパート名、号室

※ 28文字以内

〇〇アパート101号室

次へ

戻る


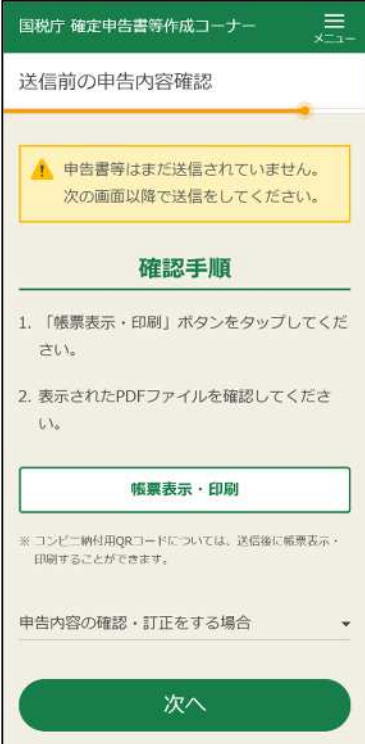
5-2で「次へ」をタップすると表示される画面です

画面の案内のとおり本人情報を入力します。

自動反映されている事項について、誤りがある場合には訂正を行います。

「次へ」をタップすると、5-4の画面へ遷移します。

- 30 -

<h2>5-4 マイナンバーの入力</h2>	
	<p>5-3で「次へ」をタップすると表示される画面です。</p> <p>画面の案内に従い、本人・親族の「マイナンバー」を入力します。</p> <p>「次へ」をタップすると、5-5の画面へ遷移します。</p>
<h2>5-5 送信前申告内容の確認</h2>	
	<p>5-4で「次へ」をタップすると表示される画面です。</p> <p>「帳票表示・印刷」をタップし、確定申告書の内容を確認します。</p> <p>これで「申告書作成編」は終了です。</p> <p>e-Taxの方は「送信編」へ、書面提出の方は「印刷編」へ進んでください。</p>